

第6学年A組 社会科学習指導案

授 業 者 山崎 泰明

研究協力者 外池 智、加納 隆徳

1 単元名 秋田のクマ問題から考える政治 ～提案しよう！秋田の未来～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

本学級の子どもは、第6学年社会科「わたしたちのくらしと日本国憲法」及び「国の政治のしくみと選挙」の学習を通して、政治が国民生活と深く関わっていることを理解し、政治を自分たちの生活に関わる身近なものとして捉え始めている。一方で、社会的事象に対して自分なりの考えをもつことはできるものの、その考えを支える情報を主体的に収集したり、資料を基に根拠を明確にして説明したりすることには個人差が大きい。また、他者の意見との共通点や相違点を踏まえて自らの考えを見直したり、考えを発展させたりする姿は十分ではなく、自分の考えを述べることにとどまる傾向が見られる。これらのことから、本学級の子どもには、社会的事象を多面的・多角的に捉え、他者との対話を通して根拠や妥当性を吟味しながら、自らの考えを更新したり深めたりする学習経験を充実させることが必要であると考ええる。

(2) 単元について

近年、秋田市では住宅地へのツキノワグマの出没が増加し、市民の安全・安心な生活を脅かす地域課題の一つとなっている。本単元では、子どもにとって身近な課題であるツキノワグマ問題を導入として、地方公共団体の政治を自分事として捉えられるようにし、地方公共団体が住民の願いや要望を基に課題解決を図り、市民生活の安定と向上に努めていることへの理解を深めることをねらいとしている。

住宅地へのツキノワグマの出没は、子ども自身の日常生活にも関わる切実な問題である。そのため、地方公共団体の働きについて学ぶ際に、政治と自分たちの生活とのつながりを具体的に捉えやすい教材であると考ええる。また、秋田市のツキノワグマ対策について調べる中で、市民の声や要望が行政の施策に反映されていることに気付き、自分たちも地域社会を構成する一員として社会参画できる存在であることを実感できると考える。

秋田市が抱える地域課題は、人口減少、若年層の県外流出、空き家の増加など多岐にわたる。本単元では、ツキノワグマ問題を通して地方公共団体の政治の役割を理解するとともに、他の地域課題にも目を向け、それらの解決について主体的に考えようとする態度を育てることができると考えている。地域課題への提案を考える上で、根拠となる情報を整理したり、多様な視点から見直したりすることができるようにするために、本単元では文部科学省が示すガイドラインに沿って生成AIを活用する。単元の最後に行う「6A議会」で可決された提案を、市役所ホームページにある「市民の声」システムに提出する活動を位置付けることで、社会の形成に参画する市民としての意識を高めていこうとする姿を期待し、この単元を設定した。

(3) 指導について

指導に当たっては、秋田市のツキノワグマ対策を事例として、対策の内容や、計画から実施までの過程、予算との関わりなどに着目し、**我が国の政治の働きについて、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを捉える**資質・能力を高めることを目指す。

そのために、単元の前半ではツキノワグマ対策が計画・決定・実施される過程や、市民の意見、議会、予算との関わりに着目させることで、地方公共団体の政治の働きを具体的に理解できるようにする。

また、単元後半の提案活動では、秋田市が抱える様々な地域課題を取り上げ、子どもが個人ではなく市役所の立場から課題解決に向けた対策を考えられるようにすることで、政治の働きを体験的に感じ取ることができるようにする。提案づくりに当たっては、課題別グループでその根拠や実現可能性について様々な観点や立場から見直すことを通して、社会的事象

を多面的・多角的に考察する力を育みたい。

本時では、生成ＡＩを議員役として活用し、子どもが市役所の立場で考えた提案に対して多様な視点から質問することで、提案の根拠や実現可能性等を見直す活動を設定する。子どもは、グループでの協働的な対話や全体での意見交流を通して、生成ＡＩから示された質問を参考にしながら、検討することを通して、自分たちの提案を更新したり深めたりしていく。地域課題について、生成ＡＩを含む他者と対話しながら考えを深めながら、提案を創り上げる経験を通して、政治を自分たちの生活と深く関わる身近なものとして捉え、よりよい社会の実現に向けて主体的に参画しようとする態度を育てていきたい。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、市民の安全や国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解できる。〈イ４０〉
- (2) 秋田市のツキノワグマ対策の内容や計画から実施までの過程、予算との関わりなどに着目し、地方公共団体の政治の取組を捉えるとともに、国民生活における政治の働きを考え、課題解決に向けた提案として適切に表現することができる。〈ア１１〉
- (3) 秋田市のツキノワグマ対策を事例として、地方公共団体の政治の働きについて主体的に学習問題を追究・解決しようとするとともに、市民の安全な生活を守るための政治の役割や地域の課題解決に主体的に関わろうとする。〈ア３〉

4 単元の構想（総時数 7 時間）

国の政治のしくみと選挙

我が国の政治の働きについて、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを捉える。

本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの反応)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1	(1) 秋田市のツキノワグマ出没状況と、市が行っている対策を知り、学習の見通しをもつ。 ・自分の家の近くでもクマが出没したことがあった。	・クマの出没が市民全体の安全に関わる問題として捉えられるよう、市内の出没状況を基に考える場を設ける。	・秋田市のツキノワグマ出没状況と対策に関心をもち、調べたいことや解決したい課題について見通しをもっている。 〈ア 3〉
ツキノワグマ対策は、誰がどのように決めているのだろうか。			
2	(2) 市民の声は、市役所の仕事や取組とどのようにつながっているのか調べる。	・市民の声と市役所の仕事とのつながりに着目して資料を読み取れるよう、調べる視点を示す。	・市民の声が市役所の仕事や取組に反映され、地域の課題解決に生かされていることを理解している。 〈イ 4 0〉
3	(3) 市議会はどう役割を果たしているのか、またツキノワグマ対策の費用はどこから出ているのか調べる。	・ツキノワグマ対策の費用と市民の税金との関わりに気付けるよう、予算に関する資料を準備する。	・市議会の役割とツキノワグマ対策の費用が予算によって支えられていることを理解している。 〈イ 4 0〉
秋田市の課題を解決するために、市役所の立場からどのような提案ができるだろうか。			
4 ・ 5	(4) 秋田市の地域課題について市役所の立場で、対策を考え、まとめる。 ・人口減少を止めるためにできることは、子育てしやすいまちづくりを進めることだと思う。	・実行できる対策かどうかを吟味できるよう、市役所の役割や予算との関わりを振り返る場を設ける。	・地方公共団体の政治の働きを基に、秋田市の地域課題に対する対策を考え、まとめている。 〈ア 1 1〉
6 本 時	(5) 6 A 議会に向けて、自分たちの提案内容を見直す。 ・友達の意見を取り入れて提案をより現実的なものにしよう。	・提案内容の見直しを促すために、前時までに子どもが作成した資料に対する生成 A I からの質問をまとめた資料を事前に準備しておく。	・提案の根拠や実現可能性、期待される効果や影響についてグループで話し合い、提案内容を見直す。 〈ア 1 1〉
7	(6) 6 A 議会を開き、提案を審議する。	・提案のよさや課題を根拠をもって判断できるよう、審査の視点を示した学習シートを準備する。	・秋田市の地域課題について、他者の提案や意見に関心をもち、進んで審議に参加しようとしている。 〈ア 3〉

◎本単元で育む主な資質・能力

我が国の政治の働きについて、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを捉える。 〈イ 4 0〉

日本とつながりの深い国々

世界の中の日本の役割について、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることを捉える。

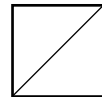
5 本時の実際（6／7）

(1) ねらい 秋田市の地域課題に着目し、生成A Iからの質問を基に提案の根拠や実現可能性、期待される効果や影響についてグループで話合う活動を通して、提案を見直すことができる。

(2) 展開

○自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動	教師の支援 評 価
5 分	① 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 市役所の立場でまとめた提案を見直そう。	・ 本時のめあてにつながるように、前時までの活動状況を確認する。
15 分	② 生成A Iからの質問を参考にしながら、グループで提案内容を見直す。 〈予想される子どもの反応〉 ・ 空き家を取り壊すだけではお金がたくさんかかりそうなので、子どもが遊べる場所や観光客が泊まれる場所に変える提案にしよう。 【質問の答えを提案内容に生かせない】 ・ 生成A Iの質問には、答えられそうだ。でも、提案内容にどう生かしたらよいのだろう。	○ 提案内容の見直しを促すために、前時までに子どもが作成した資料に対する生成A Iからの質問をまとめた資料を事前に準備しておく。 ・ 生成A Iからの質問への答えが提案内容の見直しにつながるように、修正箇所を焦点化するよう助言する。
10 分	③ 「みんなに相談タイム」で、見直しのヒントとなる考えや工夫を交流する。	・ グループで見直すことができなかった内容を補うために、学級全体で考えや工夫を共有できる場を設定する。
10 分	④ 見直したことを基に、提案資料を修正する。 〈予想される子どもの反応〉 ・ 人口減少という課題を解決するために、生成A Iや友達の意見を取り入れて提案をより現実的なものにしよう。 【資料の修正箇所が分からない】 ・ 見直したことを、資料にどのようにあらわしたらよいのだろう。	・ グループの提案のよさが伝わるように、提案資料の修正すべき箇所を個別に助言する。 提案の根拠や実現可能性、期待される効果や影響について検討し、提案を見直している。 〈ア 1 1〉（提案資料）
5 分	⑤ 本時の学習を振り返り、次時に向けた見通しをもつ。	・ 次時の「6 A議会」での提案につなげるために、振り返りの視点として「提案はどのように見直すことができたか」を示す。



令和 8 年度 社会科実践・研究計画

部 員 ○山崎 泰明

I 社会科における 自律した学習者の姿

- 1 資料や社会的事象を基に課題をもち、解決への見通しをもつ姿
- 2 自らの学習状況を見つめ、調べ直したり考え直したりしながら社会的事象を追究している姿
- 3 根拠や理由を明確にしてまとめ、自分の意見や提案を説明している姿

II 社会科における 授業デザインの取組

- A 複数の資料や日常生活につながる事象等、価値ある問いを促す資料提示をする。
- B 互いの考えのずれや曖昧さを情報交換によって焦点化し、全体で共有する場をもつ。
- C まとめを基に、問題の解決や自らの生活への活用を意識した、自分なりの考えや提案を述べる場面をゴールとする単元構想を工夫する。

III 1・2 年次研究で生成した仮説

	問題解決に没頭する子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	要因・手立て (英字は、授業デザインの取組との関連)
一 年 次	社会的事象の課題解決に向けて、自分は、家族はどうしたらよいのかという切実感のある課題をもっている姿 (1、2)	社会的事象についての理解を深めるだけでなく、課題解決のために取り組む人や課題に直面した生活をしている当事者の思いを知ること、課題がより明確にもてるような資料を精選し提示したこと (A、C)
	社会的課題解決への対策や取組について意欲的に調べ、相手の気持ちに訴えかける伝え方を工夫する姿 (2、3)	単元全体の見通しをもって活動できるように、ゲーミフィケーションを取り入れたまとめの活動を単元のゴールにしたこと (A、B、C)
二 年 次		

IV 1 年次研究の課題と、改善するための手立て

	課題となった子どもの姿 (数字は、自律した学習者との関連)	改善するための手立て (英字は、授業デザインの取組との関連)
一 年 次	明確な課題をもち、単元のゴールに向かって追究することはできたが、それぞれが調べた内容や考え方を適切に交換したりそれを基に改善したりできないでいる姿 (2)	情報交換からの改善を図る意識を高めるために、個別の課題を追究する学びと協働で情報交換や話し合いを進めていく時間を計画的または適時に設定する。 (B、C)

令和8年度「社会科の資質・能力」表

※□は、資質・能力の取り扱い学年、■は、定着学年を示す。

内容			学習指導要領との関連 内容	3年	4年	5年	6年
社会科の学びに 向かう力、 人間性等	ア1	社会的事象について主体的に問題解決し、社会的事象の特色や相互の関連、意味などを考えようとする。	3年(2)、(3)、4年(2)、(3)、5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(1)、(3)	□	■	■	■
	ア2	社会的事象について主体的に問題解決し、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。	3年(1)、(2)、(3)、(4)、4年(1)、(2)、(3)、(4)、(5)	□	■	■	■
	ア3	社会的事象について主体的に問題解決することを通して、我が国の産業の発展やよりよい社会を実現していくために協力しようとする意識をもとうとする。	5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(1)、(3)			□	■
	ア4	社会的事象について主体的に問題解決することを通して、我が国の歴史や伝統を大切にし、世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚をもとうとする。	6年(2)、(3)			□	■
	ア5	生活経験や資料、日常的な情報(図書、新聞、テレビ等)、体験的な活動の中から、疑問や追究したいことを発見しようとする。	3年(2)、(3)、4年(4)、(5)、5年(4)、6年(1)、(3)	□	■	■	■
	ア6	社会的事象にかかわる追究活動や学習成果を共有することを通して、新たな疑問や追究課題を見つけようとする。	4年(2)、(3)、5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(3)		□	■	■
	ア7	自分や仲間の問題意識を大切にしながら、社会的な事象の追究にかかわる学習問題を設定しようとする。	3年(1)～(4)、4年(1)～(5)、5年(1)～(5)、6年(1)～(3)	□	■	■	■
	ア8	予想に基づいて自分なりの学習問題を設定し、解決する方法を考えようとする。	4年(1)～(5)、5年(1)～(5)、6年(1)～(3)		□	■	■
	ア9	学習課題や対象となる社会的事象に応じた調べ学習の手段(図書資料、インターネット、訪問やインタビュー等)を選択して、学習計画を立てようとする。	3年(2)～(4)、4年(2)～(5)、5年(2)～(5)、6年(1)～(3)	□	■	■	■
	ア10	追究の目的に応じた資料(実物や写真、地図・統計資料など)を集めようとする。	3年(1)～(4)、4年(1)～(5)、5年(1)～(5)、6年(1)～(3)	□	■	■	■
	ア11	社会の様子や仕組みについて調べたことを、過程や結果を工夫し、情報交換に応じた適切な方法(図、表、イラスト、白地図、年表、グラフ等)を選択しながら表現しようとする。	3年(4)、4年(2)、(3)、(4)、(5)、5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(2)、(3)	□	■	■	■

社会科の各領域 の付けたい力 地理的環境と人々の生活	イ1	身近な地域や自分たちの市の様子を観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。	3年(1)、(4)	□	■	■	■
	イ2	都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子をとらえ、場所による違いを考え、表現する。	3年(1)	□	■	■	■
	イ3	地域に見られる生産や販売の仕事について見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。	3年(2)	□	■	■	■
	イ5	我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して県の様子をとらえ、地理的環境の特色を考え、表現する。	4年(1)		□	■	■
	イ6	県内の特色ある地域について地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめる。	4年(5)		□	■	■
	イ7	特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現する。	4年(5)		□	■	■
	イ8	我が国の国土の位置、地形や気候の概要、気候条件から見た特色ある地域の人々の生活をとらえ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考える。	5年(1)			□	■

社会科の各領域 の付けたい力 歴史と人々の生活	イ9	自然災害や公害の発生位置、森林の広がりなどを調べ、白地図にまとめる。	5年(5)			☐	■
	イ10	教科書や地図帳に載っている主な地図記号を概ねとらえる。	3年(1)	☐	■	■	■
	イ11	地図帳や地球儀から情報を読み取り、活用する。	3年(1)、(4)、4年(1)、(5)、5年(1)、(2)、(3)、(5)、6年(2)、(3)	☐	■	■	■
	イ12	都道府県名とその位置を概ねとらえる。	4年(1)、5年(1)、(2)、(3)、(5)		☐	■	■
	イ13	地図帳に載っている世界の主な国名とその位置を概ねとらえる。	5年(1)、6年(3)			☐	■
	イ14	市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことをとらえる。	3年(4)	☐	■	■	■
	イ15	市の様子の移り変わりについて、聞き取り調査をしたり地図などの資料を調べたりして、年表などにまとめる。	3年(4)	☐	■	■	■
	イ16	交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子をとらえ、それらの変化を考え表現する。	3年(4)	☐	■	■	■
	イ17	自然災害から人々を守る活動について、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめる。	4年(3)		☐	■	■
	イ18	県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることをとらえる。	4年(4)		☐	■	■
	イ19	地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことをとらえる。	4年(4)		☐	■	■
	イ20	県内の伝統や文化、先人の働きについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめる。	4年(4)		☐	■	■
	イ21	歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子をとらえ、人々の願いや努力を考え、表現する。	4年(4)		☐	■	■
	イ22	当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例をとらえ、先人の働きを考え表現する。	4年(4)		☐	■	■
	イ23	年表を読み取り、活用する。	3年(4)、4年(4)、6年(2)	☐	■	■	■
	イ24	教科書に登場する歴史人物の業績をとらえる。	6年(2)				■
	イ25	我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産、遺跡や文化財などをとらえ、歴史を学ぶ意味を考えたり、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて表現したりする。	6年(2)				■

社会科の各領域の付けたい力 現代社会の仕組みや働きと人々の生活	イ26	生産の仕事は、地域の人々の生活と密接に関わりをもって行われていることをとらえる。	3年(2)	☐	☒	☒	☒
	イ27	仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現する。	3年(2)	☐	☒	☒	☒
	イ28	販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることをとらえる。	3年(2)	☐	☒	☒	☒
	イ29	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する。	3年(2)	☐	☒	☒	☒
	イ30	消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることをとらえる。	3年(3)	☐	☒	☒	☒
	イ31	地域の安全を守る働きについて施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現する。	3年(3)	☐	☒	☒	☒
	イ32	飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることをとらえる。	4年(2)		☐	☒	☒
	イ33	廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることをとらえる。	4年(2)		☐	☒	☒
	イ34	地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることをとらえる。	4年(3)		☐	☒	☒
	イ35	過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動をとらえ、その働きを考え、表現する。	4年(3)		☐	☒	☒
	イ36	我が国の農業や水産業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかわりをもって営まれていることを考える。	5年(2)			☒	☒
	イ37	我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。	5年(3)			☒	☒
	イ38	我が国の放送、新聞などの産業は、国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることをとらえる。	5年(4)			☒	☒
	イ39	我が国の国土の自然環境と自然災害への対応、森林資源の保護、公害の防止に見られる人々の生活や産業との関連を考え、表現する。	5年(5)			☒	☒
	イ40	我が国の政治の働きについて、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることをとらえる。	6年(1)				☒
	イ41	世界の中の日本の役割について、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることをとらえる。	6年(3)				☒

〈社会科の学びを支える「見方・考え方」〉

a 社会的事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目してとらえ、比較・分類したり、総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりして考える。

〈領域の学びを深める「見方・考え方」〉

地理的環境と人々の生活

b 位置や空間的な広がり視点に着目して、地理的な社会的事象をとらえる。

歴史と人々の生活

c 時期や時間的な経過の視点に着目して、歴史的な社会的事象をとらえる。

現代社会の仕組みや働きと人々の生活

d 社会的事象と人々との相互関係の視点に着目して、身のまわりで起こる社会的な出来事をとらえる。